

戸畑デザイン工房の授業利用に関するお願い

2016年6月1日 戸畑デザイン工房運営委員会

戸畑デザイン工房は、学生が「作りながら考える」ための環境を提供するために、2014年度から運用を開始しております。昨年度の利用状況から、特に授業で利用される場合の注意点がいくつか明確になりました。今後もデザイン工房を継続していくために、授業の一環としてデザイン工房の利用を検討される場合は、次の点にご配慮いただきますよう、お願いいたします。

(1) 設備と利用者の管理は授業担当側で対応をお願いします。

現在、戸畑デザイン工房に専任の教職員はおりません。また学生スタッフは、授業以外の利用者対応のために配置しております。授業を含むすべての作業を、デザイン工房側で管理するだけの人的資源はありませんので、授業時間外の作業も含めて、授業に関する利用につきましては、授業担当者側の責任で設備と利用者の管理をお願いいたします。

(2) 材料は授業担当側でご準備ください。

デザイン工房の運営費用が定常的に確保できる保証はありません。モノの製作に必要な材料は、授業担当側でご準備ください。ただし、3Dプリンタは素材の入手性や途中交換の難しさを考慮して、次のようにします。

(a) 3Dプリンタ(大)の素材は工房で準備し、使用量に応じた課金制を開始します。

詳細は「3Dプリンタ(大)の材料費課金について」をご覧ください。

(b) 3Dプリンタ(小)の素材は比較的安価なため、従来通り無償提供します。ただし、利用量の動向によっては、材料費の負担をお願いすることになるかと思えます。

(3) モノの加工や造形には時間がかかります。作業時間を十分確保した計画をお願いします。

実際の所要時間は、大きさ、複雑さ、製作方法、などによって異なりますが、1件/時間でも速い方です。事前に試作するなどして実際の所要時間を確認したうえで、授業での利用方法をご検討ください。

(4) 設備が使えない場合についても事前検討をお願いします。

設備の維持には努めますが、故障した場合などにすぐには対応できない可能性があります。そのような場合の対策も、あらかじめ検討いただきますよう、お願いいたします。

(以上)